



田園地帯を走りながら聞く「田園」、厚岸の先で聞く松原のぶえの「愛冠岬」、知床で聞く加藤登紀子の「知床旅情」、松山千春の「網走番外地」……音楽が旅を大いに盛り上げてくれるのはまちがない

# RUSHのクリアな音が風景をより輝かせる

発売もないデュアルパーパスモデルのヘルメット「カブトのジオシス」に装着。付属の両面テープでスマートかつ、しっかりと固定できた



立体音響を、ヘルメットの中に再現したのだ。1つのスピーカーから音を出すのがモノラル、左右から別チャンネルの音を出すのがステレオ。ステレオサウンドではオーケストラやバンドの楽器の配置や、横に移動していくクルマの音などがリアルに表現された。空間オーディオは縦方向の音を追加して、より立体的に表現したものだ。飛行機が頭の上を追加していく音の再現などが分かりやすい。映画館などでは様々な場所にスピーカーを配置

できるがヘッドホンでは不可能だ。これを音の伝わり方のずれなどを活用して、立体的な音響を生み出している。空間オーディオシステムを搭載したRUSH RCFで、アップルミュージックやアマゾンプライムミュージック・アンリミテッドが提供する音源を再生することで、奥行きのある音楽を楽しむことができる。北海道を走るときに聞きたい音楽といえば、少々ベタだがヴィバルディの「四季」、ベートーベンの「田園」あたりだろうか。僕のオススメはバイヤール

のパスベルベルのノンで始まるエラートレイベルのパロック集。徐々に高まっていく感じが旅のスタートにふさわしい。空間オーディオ対応の楽曲はデイズニーマイドの「リトルメイド」のような最新のものだけでなく、イーグルス、クイーンなどのクラシックロックやジョン・コルトレイン、マイルスデイビスといったジャズもラインナップされ、楽器の繊細なタッチまで感じられる。荒井由実や宇多田ヒカルなど日本のメジャーポップスにも多数対応した音源があり、好みの音楽が見つかるはずだ。アプリのリストから自分なりにプレイリストを作ってツーリングに彩を加えよう。訪問地ゆかりの曲でも、自分の定番でも、今聞きたい曲でも構わない。RUSH RCFのクリアな音楽は、旅の思い出をより印象深いものにしてくれるはずだ。

空間オーディオ対応音源データは、ドルビーアトモス(Dolby Atmos)と360リアリティオーディオ(360 Reality Audio)という2種類。AppleミュージックまたはAmazonプライムミュージックアンリミテッドにて配信されている。ジャンルは多彩なので好んで



立体的に音楽を聞かせる RCF社の音響技術

RUSH RCF本体 & スピーカー



空間オーディオ 対応音源



立体的な 空間オーディオ

MIDLAND

# RUSH RCF

シングルパック

3万4000円

ツインパック

6万6300円



キット内容  
マイクセット(ワイヤー型/アーム型)  
マグネティックマウント  
マウント取付キット(クリップ型/貼り付け型)  
スペーサーゴム(2種)  
RCF高音質HDスピーカー  
低音用BASSクッション(2個)  
スピーカー用スペーサー(2個)  
USB充電ケーブル(Type-C)



## RUSH RCFの機能

最大10人で  
会話可能な  
メッシュ通話

ワンプッシュで  
通話開始

分離・合流時  
ペアリング不要

高音質な  
RCF空間オーディオ

音響の魔術師RCF  
ヘルメットをホールに

大空港 イギリスヒースロー空港や、イタリアの世界屈指のオペラハウス、そして東京オリンピックの会場にもなった横浜スタジアムでも、音響設備を手掛けたことでも知られるRCF社。「雑踏の中でアナウンスが聞き取りやすい」「ホールのどの席でも理想的に聞こえる」など、どんなシチュエー

ションでも、すべての人に最良の音響を提供するということは容易ではないが、音響のプロフェッショナルであるRCF社は、人間の耳に音を届けるための膨大なノウハウを蓄積している。MIDLANDインカムRUSH RCFは、音響のスペシャリストRCF社がノウハウを注ぎ込んで監修したスピーカーと本体内蔵の新型ソフトの融合で、まるでコンサートホール内のような感動

# 空間オーディオ対応インカム ツーリングルートが コンサート会場になる

ペアリングが不要の簡単操作で人気のインカムRUSH RCFだが、イタリア「RCF社」が手掛ける空間オーディオの搭載も話題だ。そのダイナミックな音響効果をツーリング先でも楽しもう

写真/アラタジーン、掛川浩一、文/中島智希  
問: LINKS TEL075-708-2362 <http://www.midlandradio.jp/>

